



有田町

令和2年12月定例会

議会

だより

No56



平安こども園

ひとつ成長を感じる
生活発表会♪



平安こども園 外観

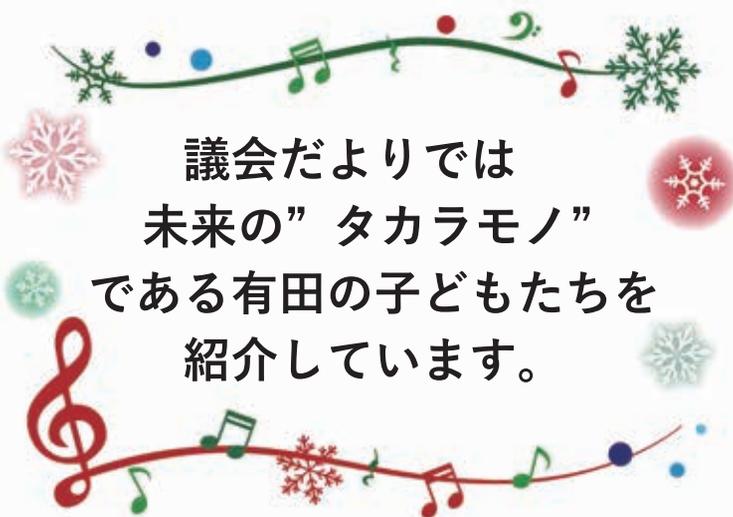


あかさか ルンビニー園

楽しくワクワクな
生活発表会♪



あかさかルンビニー園 外観



議会だよりでは
未来の”タカラモノ”
である有田の子どもたちを
紹介しています。

CONTENTS

- 令和2年度一般会計補正予算 P2~
9448万円を増額補正し
149億1703万円に
- 委員会報告 P5~
- 一般質問 11人が町政を問う P8~

令和3年1月29日 発行

有田町 議会だより

NO.56 12月

主な補正予算を紹介

新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業(新型コロナ対応)

新型コロナウイルスワクチン接種のため体制を確保するための補正額(3024万円)である。

この事業に対応するための健康管理システム改修委託料や予防接種委託料などを予定している。一人2回接種を想定し、概算の人数で予算を計上している。



上有田駅観光トイレの譲渡改築に伴う 工事費と負担金(新型コロナ対応)

現在 JR が所有している上有田駅の観光トイレが町に譲渡される。今回の補正額(245万円)は、それに伴う観光トイレ改修工事費と JR 側の工事に必要な分の負担金である。



▲上有田駅の観光トイレ

CONTENTS 目次

P2	補正予算
P4	議案審議
P5	委員会報告
P8	一般質問
	11人の議員が執行部と活発な議論を繰り広げました
P8	中島 石膏型製作に町の助成を
P9	樋渡 高齢社会の公共交通計画
P10	岳川 空き家に対する税特例措置
P11	松永 町有地の有効活用を
P12	原田 登下校路の危険箇所対策
P13	池田 唐船城築城800年回顧展を
P14	福島 児童虐待対応の取り組みは
P15	諸隈 観光資源を結ぶ施策を
P16	梶原 危機的業界への支援を
P17	今泉 児童発達支援センター開設
P18	蒲原 ワクチン接種の実施体制は
P19	お知らせ
P20	あとがき

新たな生活様式の確立に向け 予算の拡充を

令和2年12月議会は、12月8日から18日まで11日間の会期で開催された。

一般会計予算に9448万円を補正し、歳入歳出予算の総額が149億1703万円となった。

主な事業として、有田町“新生”まちづくり事業、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、障害福祉サービス事業等に追加補正を行った。



▲内山地区の様子

(単位：万円)

事業名	内 容	補正額
有田町“新生”まちづくり事業	有田町内山ランドデザイン策定支援業務委託料	52
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	予防接種委託料 健康管理システム改修委託料他	3024
(新型コロナ対応) 上有田駅観光トイレ改修事業	工事請負費、観光トイレ譲渡改修に伴う負担金	245
障害福祉サービス事業	介護及び訓練等給付費、相談支援給付費	6782
施設型給付費等事業	施設型給付費等負担金 (2・3号)	3491
障害児福祉サービス事業	障害児通所給付費、障害児相談支援給付費他	1632
新型コロナウイルス感染症対応事業者緊急支援事業	Web有田陶器市補助金 飲食店支援補助金 事業者緊急支援給付金他	△8609

特別会計・企業会計補正

- 特別会計
 - 国民健康保険特別会計 15万円 (一般被保険者高額療養費他)
 - 後期高齢者医療特別会計 1164万円 (後期高齢者医療広域連合納付金他)
 - 介護保険特別会計 1354万円 (介護給付費準備基金積立金他)
- 企業会計
 - 水道事業会計 518万円 収益的支出(修繕費 委託料他)
 - 公共下水道会計 2万円 収益的収入(手数料他)
 - 46万円 収益的支出(委託料他)
 - *その他 農業集落排水事業会計等

令和2年12月議会議案の審議結果

議案番号	提出議案	審議の結果
議案第80号	有田町農業委員会の委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とする事について	賛成全員
議案第81号	有田町監査委員の選任について	賛成全員
議案第82号	有田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第83号	有田町浄化槽整備推進事業に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第84号	町道路線の廃止について(泉山歩道橋の老朽化による撤去に伴う廃止)	賛成全員
議案第85号	令和2年度有田町一般会計補正予算(第5号)について	賛成全員
議案第86号	令和2年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	賛成全員
議案第87号	令和2年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第88号	令和2年度有田町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第89号	令和2年度有田町公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第90号	令和2年度有田町農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第91号	令和2年度有田町水道事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員

ピックアップ



議案第83号

有田町浄化槽整備推進事業 に関する条例の一部を改正する条例について

浄化槽法が改正され、浄化槽が設置されたときは、やむを得ない場合を除き、その設置の完了後1年以内に排水設備を設置し、浄化槽に接続する事が義務付けられた。浄化槽設備後の接続推進等のための改正である。

● まちなかインフォメーション ●

佐賀県立窯業技術センターから有田町福祉保健センターを通る町道小溝原穂波ノ尾線において、窯業技術センター南側の切土法面が地滑りを起こしていたため、社会資本整備総合交付金事業の防災メニューで整備された。



文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

（委員会構成議員 5人）

委員長 今泉藤一郎

副委員長 蒲原多三男

▼有田町国民健康保険税

条例の一部を改正する

条例

今泉委員 内容の説明を。

税務課長 個人所得課税

の見直しに伴い、軽減

判定における給与所得

者と公的年金受給者の

不利益を是正するため

に、条例改正をするも

の。

いか。

健康福祉課長 買い物や

通院、家事などで困ら

れている。

藤委員 施設型給付費等

事業の増額はなぜか。

子育て支援課長 年度前

半の中途入所児童の増

加と、令和2年度の加

算額が増額されたこと

によるものである。

諸隈委員 新型コロナウ

イルスワクチン接種体

制確保事業の説明を。

健康福祉課長 接種に対

応するためのシステム

改修や予防接種委託料

などで、一人2回接種

で7千円程度として計

算し、概算の人数で予

算を計上している。

蒲原委員 ワクチン接種

はこの予算で大丈夫か。

健康福祉課長 3月補正

で増額の可能性もある。

藤委員 中央運動公園登

り口の法面崩落で、利

用者への影響はないか。



▲中央公園法面崩落

生涯学習課長 基本的に

工事は平日の昼間に行

い、片側通行で対処し

たい。

今泉委員 西中の体育館

雨漏りは何度も繰り返

しているが、他市町や

県にも相談し、対策を。

学校教育課長 調査結果

を踏まえて、工事を進

めていく。

議長 雨漏りは、設計ま

たは施工の2つのミス

があるとと思う。今後の

ためにも調査・検証を

しっかりしてほしい。

学校教育課長 検証をし

ていく。

蒲原委員 コロナ禍の中

で全国的に自殺者の件

数が昨年を上回ってい

る。学校現場でさらな

る体制づくりを。

教育長 普段からアンケ

ート調査や個別相談を

実施しているが、校長

会でも改めて強化をお

願いする。

▼令和2年度有田町国民

健康保険特別会計補正

予算(第4号)

今泉委員 短期保険証の

発行状況は。

税務課長 令和2年度現

在で98件。

▼令和2年度有田町後期

高齢者医療特別会計補

正予算(第2号)

藤委員 町の負担は今後

も増えていくのか。

健康福祉課長 今後10年

は増加していくと思わ

れる。

今泉委員 実際にかかっ

ている医療費は。

健康福祉課長 令和元年

度実績で、35億488
万8740円。一人当
たり約99万円。

▼令和2年度有田町介護

保険特別会計補正予算

(第2号)

藤委員 第8期の保険料

の算定期だが、保険

料の見込みは。

健康福祉課長 確定はし

ていないが、保険料は

上げなくて済むと思う。

福島委員 要支援、要介

護の人数とフレイルの

方への支援は。

健康福祉課長 要支援、

要介護者の合計で10

74人。フレイルや介

護予防の対策として、

福祉保健センターでは

健康トレーニング教室

各地区の公民館では通

いの場事業、生涯学習

課や多世代交流センタ

ー「ゆいたん」でも各

種教室等が実施されて

いる。

上程された全ての議案

は全員賛成で可決すべき

ものとなりました。

藤委員 コロナ禍の中で
一人暮らしの高齢者が
困られていることはな

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

（委員会構成議員 5人）

委員長 梶原 貞則
副委員長 久保田 均

し合いをしたが代替道路が難しいこととなった。今後協議をしていきたい。

▼有田町浄化槽整備推進事業に関する条例の一部を改正する条例

梶原委員 今回の改正では1年以内に接続することとするものだが、これまで接続しない事例があったための改正か。

▼令和2年度有田町一般会計補正予算（第5号）

岳川委員 有害鳥獣対策事業で被害防止対策事業補助金の内容は、

農林課長 イノシシやアライグマの捕獲頭数が、

各々1・5倍弱増加したための増額である。

岳川委員 玉ねぎ生産緊急支援事業の減額の原因は。

農林課長 当初想定していた収穫量より、申請量が減少したため。

原田委員 新型コロナウイルス感染症対応事業者緊急支援の補助金の減額分で、対象外の人への新たな補助はできないか。

商工観光課長 現状では、追加して支援を行うことは考えていないが、庁内で協議しながら総合的に判断したい。

梶原委員 秋の陶磁器まつりのWebサイトは、あまり売り上げが伸びなかつたと聞いている。来春のWeb有田陶器市は今春のWeb有田陶器市のように送料の支援ができないか。

商工観光課長 秋の陶磁器まつりのWebサイトについては、通年で購入できるものを用いることで立ち上げた。春のWeb有田陶器市は全国的にも先駆けとなったため好評だったと思う。状況を見ながらどのような支援ができるのか検討していきたい。

梶原委員 窯業界は今、危機的状況に陥っている。第2弾、第3弾の緊急的支援をお願いしたい。

商工観光課長 支援策を検討していきたい。

原田委員 上有田駅観光

とは考えていないが、庁内で協議しながら総合的に判断したい。

▼町道路線の廃止

原田委員 歩道橋の廃止による、代替道路等はどうなるのか。

建設課長 地元と十分話し合いたい。

梶原委員 中樽住宅の1号・2号棟から他の棟への移動の働きかけはしているのか。

建設課長 3〜5号棟の屋根の修繕が令和3年1月頃完成予定で、その後働きかけをしていきたい。

原田委員 緊急自然災害防止対策工事の工事箇所は。

建設課長 中樽の舞々谷川と泉山の年木谷川本流の2カ所である。

岳川委員 災害対策防止事業に関連して、いつ災害が起こるか分からないので、対策費については予算確保に努めてほしいが。

建設課長 地区要望があったため、予算確保しているが、今は十分調査を行い対応していきたい。

▼令和2年度有田町公共下水道事業会計補正予算（第2号）

梶原委員 現在までの接続状況と接続率を上げ



▲有田ダム入口トイレ

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

る対策はあるのか。

上下水道課長 接続率は10月末までで59・6%（件数割）である。浄化槽を設置しているところに、工事費や維持費のメリットを説明している。また広報誌「汚水処理二コース」でも、積立奨励金や利子補給制度等を紹介している。

▼令和2年度有田町水道事業会計補正予算（第2号）

（第2号）

原田委員 漏水修理費等とあるが、原因は。

上下水道課長 老朽化が進んでおり、ごこの老朽管で発生するかわからないので予算化したものである。

▼令和2年度有田町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）

上程された全ての議案は全員賛成で可決すべきものとしました。

（委員会構成議員 6人）

委員長 古賀 四郎
副委員長 松永 俊和

▼令和2年度有田町一般会計補正予算（第5号）歳入

中島委員 有田焼が百年に一度の危機である。有田焼創業400年祭基金を利用し、有田の活性化はできないか。

副町長 この基金は有田焼を発展させ、将来のために使うものと認識している。他の目的に使うのは厳しいが検討したい。

池田委員 県営ため池等整備事業負担金は。

副町長 工事費の規模によつて県営か町営かに分かれる。

池田委員 町内で重点ため池と指定された箇所は。

副町長 町内202カ所の内、153カ所が重

点ため池である。

池田委員 河川の護岸等の調査について町は行ったのか。

副町長 工事が必要な所が県の河川であれば、県の土木事務所へ依頼する。

池田委員 県河川である唐船川の護岸補強を願う。

副町長 県と協議したい。
中島委員 コロナ禍による町税の減収について

現在の状況は。

税務課長 11月末での徴収猶予額は、2927万9700円である。

中島委員 固定資産税の減収は。

税務課長 現在2100万円くらいだが、今後増える可能性もある。

歳出

樋渡委員 PCB汚染廃棄物事業の場所は。
総務課長 文化財課で2基、生涯学習課で3基確認している。

樋渡委員 町内の建物で残っている可能性はあるか。

総務課長 専門的知識が必要のため、ないとは断定できない。

樋渡委員 旧すがの保育園解体工事負担金の説明を。

財政課長 工事内容見直しと入札の減によるもの。

樋渡委員 防犯カメラ設置工事の場所

は。

総務課長 町内4小学校の通学路に設置する。

松永委員 「わがまち未来形」掲載料の説明を。

まちづくり課長 佐賀新聞で県内自治体の特徴的な取り組みや移住施策等について、1週間にかわつて掲載される記事の掲載料。

松永委員 企業対策事業の「多様な主体との人材マッチング支援及び情報発信業務委託」の説明を。

まちづくり課長 東京都内に有田町の東京事務所を設置。有田町に関心のある企業と、有田町での事業開拓に関心のある方のマッチングの支援等を行う。この業務委託では首都圏における雑誌等やインターネットへの話題提供や情報発信等も行う。

上程された全ての議案は全員賛成で可決すべきものとしました。



▲山谷の大堤



中島 達郎 議員

石膏型製作に町独自の助成を

答 業界にヒアリングを行い支援策を検討

補助や助成金の要望

▽石膏型製作の助成を

議員 やきものの製造には、器の原型となる石膏型が必要だが、町独自の型製作費助成を。

にヒアリングなどを行いながら支援策を検討したい。

▽スズメバチ対策補助

議員 通学路に接する民家や庭木に巣を作る危険なスズメバチの巣の駆除費の補助を。



▲庭木に潜むスズメバチの巣

商工観光課長 型製作は、有田焼の製造に欠かせない技術であり、町としても支えていく必要がある。□□ナ禍に対応した商品の開発も必要であり、業界等

されているが、近隣自治体の動向を見ながら考えたい。

▽松浦鉄道1日乗車券の購入補助を

議員 フレイル(年齢

と共に心身活力低下の予防として、松浦鉄道を利用して外出を促す乗車券購入の補助を。まちづくり課長 外出効果や必要性があると認められれば、健康福祉課とともに協議したい。

健康福祉課長 課題とな

なっている高齢男性の参加促進につながる。今後の事業実施の参考としたい。

▽有形文化財への助成

議員 台風等の災害による有形文化財の破損の補修費対策は。文化財課長 条例上、補修の補助は可能。ただし、当町を含め多くの市町が柔軟に対応できるところであって補助率は定めていない。指定文化財の場合は、神社の鳥居等でも宗教施設である前に文化財として補修するので補助できる。法律的にも特に

問題はない。**議員** 多くの町民の寄付をもとに修復された陶山神社鳥居。しかし、国の登録有形文化財の整備助成にも住民の署名運動により民意が反映され、時として町を動かす力になることもある。町は、関係機関等と今後相談し、将来に向けての進展を望む。

新たな基金設立の要望

▽緊急経済対策基金を

議員 □□ナ禍による救済策としての基金を。財政課長 緊急を要す

▽多目的防災施設・避難所の整備を。

その他質問

るものには予備費を、年度内実施の対策には、財政調整基金で対応する。

▽給付型奨学金設立を

議員 医療従事関係者や保育士等、町の将来を担う人づくりを目的とした条件付奨学金を。学校教育課長 給付型奨学金設立は財政的に困難。今後、国の動向などを見守りながら調査・研究を行いたい。



(和室 6 人部屋)
(洋室 4 人部屋)

▲合宿所兼福祉避難所 (出所 基山町)

高齢化社会向け公共交通の計画は

答 今後において、必要な課題である



樋渡 徹 議員

有田町の公共交通

▽利用状況

議員 4月に戸矢地区と南山地区のふれあいタクシー（デマンドタクシー）が運用開始された。乗降地は、医療機関の受診、食材の入手、役場等の手続きが必要な場所に限定されており、必要最小限の生活手段を補佐するのが目的となっている。歯医者が入っていないが、追加要請はあっていないか。

まちづくり課長 今のところ、あっていない。

議員 コミュニティバスは、定期運行なので年間経費の算出は予想がつくと思うが、デマンドタクシーは、ある程度の実績がないと利用予測も難しく、概算設定でいかざるを得ない。現在までの利用状況をお尋ねしたい。

まちづくり課長 デマンドタクシーは、平均して毎月50万円程度かかっている。

デマンドタクシーとコミュニティバスは、高齢者にとって重要な移動手段となる。現況と

西地区（自宅）より東地区（上幸平）への移動			
「行き」			
自宅（デマンドタクシー）	→ 有田町役場	08:30	13分待ち
有田町役場	08:43（バス）	福祉保健センター	08:51 04分待ち
福祉保健センター	08:55（バス）	上幸平	09:18
「帰り」			
上幸平	10:24（バス）	福祉保健センター	11:06 07分待ち
福祉保健センター	11:13（バス）	有田町役場	11:21 39分待ち
有田町役場	12:00	→（デマンドタクシー）	自宅
遅れた場合「帰り」			
上幸平	12:29（バス）	福祉保健センター	13:13 02分待ち
福祉保健センター	13:15（バス）	有田町役場	13:23 37分待ち
有田町役場	14:00	→（デマンドタクシー）	自宅
料金については、片道400円（障がい者は半額） （コミュニティバスを乗り継いだ場合の料金は無料。バス200円タクシー200円）			
【課題】			
◎	乗り遅れた場合の待ち時間	=	2時間
◎	乗り継ぎの時間待ち（バス → タクシー）	=	40分
◎	風雨除けの問題		

▽東西地区間の移動

議員 町内の人口も高齢化に伴い、団塊の世代が後期高齢者になるのも3年を切った。運転免許証返納等により、

して、西地区から東地区への移動手段でタクシーを利用した場合は、往復で5千円にもなり、交通費の負担が大きい。将来に向け、東西間の

移動にも考慮された計画を。

まちづくり課長 今後において、必要な課題である。MRやJRのダイヤ接続も考慮したい状況であるが、コミュニティバスの運転手の休憩時間など、種々の問題があり苦慮している。

▽悪天候向けの待合所

議員 雨天や風雨時に待機できる待合所の設置は可能か。

まちづくり課長 バス停の環境整備は現在、地域やボランティアの協力でなされている。町では行っていないが、今後高齢化社会の課題として検討すべきと思われる。

疑われる場合の相談方法が変わったが、その説明をお願いする。

健康福祉課長 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えて、掛かりつけ医療機関を通して診療を受けるよう変更された。

側溝の蓋

議員 U字溝構造の側溝で、高齢者が溝に転落し、ケガをされたとの事例が発生している。対策を講じられないか。

建設課長 通行量の多い所から年次計画を立てて改善していきたい。



▲側溝蓋のないU字溝

新型コロナウイルス

議員 11月より、新型コロナウイルス感染が



岳川 淳彦 議員

空き家に対する税の特例措置は

答 除却後に係る固定資産税の減免

空き家対策

議員 直近の空き家状況は。

総務課長 平成29年度の調査で、651件の空き家があり、現在の正確な件数は不明で、増加傾向にあると認識している。空き家等対策計画が、令和4年度までとなる。その後、再調査を行いたいと思う。



▲管理されていない空き家

議員 危険性や苦情のある空き家が増加傾向にある。安全面を考慮すれば、緊急を要すると思うが、その状況と対応は。

総務課長 空き家の管理責任は所有者にあり、管理者不在の空き家でも無断で手を加える事はできない。区長や住民に協力を得て、所有者を特定している。今年台風の影響で20件の連絡があり、対応している。

議員 管理されていない特定空き家の状況は。
総務課長 特定空き家に認定したのが、令和元年に3件、令和2年に3件となっている。
議員 補助金制度の実

績は今のようになっているか。

総務課長 特定空き家と認定した建物の所有者が解体したいとの意向があれば、書類等の審査をし、補助金を交付している。

議員 空き家に対する税金の免税制度は。

総務課長 老朽空き家を除却した場合、土地に対する固定資産税を減免する制度を今年度新設した（有田町老朽空き家の除却後の土地に係る固定資産税の減免措置要綱）。この制度は、除却に伴い住宅用地の特例が適用外となる土地の税額の上昇分を5年度間に限り減免する。

秋の陶磁器まつり

議員 コロナ対策で例年に比べ大変な状況の中、秋の陶磁器まつり



▲秋の陶磁器まつり

議員 年々増えていた人出は今回どのようになつたのか。

商工観光課長 人出は、前年比の82・5%であった。今回は、自家用車の来場者が多く公営駐車場は116%であった。

議員 5日間の総評はどのように考えて

いるのか。
商工観光課長 コロナは、経費やスタッフの手配を含め、計画通り実施できたのか。
商工観光課長 大型バスの運行や検温所設置に伴う各種経費等として例年よりコロナ対策に140万円程かかっている。スタッフとしては、町の職員を例年5日間で50人程から今年は100人程に協力してもらった。

は、経費やスタッフの手配を含め、計画通り実施できたのか。
商工観光課長 コロナ禍の影響で、来場者は減少したものの、売り上げに関しては、好調だったようだ。購入目的で来場し、国の「Gotoトラベル」の地域共通クーポンを活用して買い物もされたと推測している。

町有地の有効活用を

答 いろいろな活用を検討する



松永 俊和 議員

町有地の有効活用

▽しらかわ保育園

議員 しらかわ保育園の現在の管理状況と活用状況は。

子育て支援課長 園児数の減少などに伴い、休園している。現在は一部を町立保育園の備品や地区の資材置き場として提供している。
議員 かつて、計画としてあった園内のデイ



▲しらかわ保育園の現状

サービスセンターはどのように活用されたのか。

健康福祉課長 平成5年に園の一部を改修し、「しらかわの里」が開所。センターとして旧有田町の障害のある高齢者が利用していた。平成12年に現福祉保健センターが建設され、新たに「デイサービスセンターやすらぎ」を設置。介護保険制度の開始に合わせて介護保険

サービスが提供され、これに伴いその後「しらかわの里」は閉所した。
議員 地元から「現状の空き家のままでは、防犯の面でも怖い」との声もある。今後、地域住民の利用

や民間へ分譲など有効活用を。

子育て支援課長 一部を倉庫に活用しているが、建物の老朽化が進み改修工事程度での活用は難しいため、今後は建物の解体も含め検討していきたい。

▽南原工業用地

議員 企業誘致の進捗と現状は。また、11月末の写真だが、工業用地として誘致中とは思えない。販売中の看板もない。また周辺の除草もできていない。本当に誘致をする気があるのか。

まちづくり課長 町内工場移転の候補地としての検討や数件の問い合わせもあつた。県とも一緒に情報収集をしている。除草作業は年1回行っている。
議員 以前から、国道35号からの乗り入れ道が問題で、企業誘致が



▲南原工業用地の現状

まちづくり課長 この用地はもともと小学校建設予定地だった。平成19年に文教施設用地から、地域の方々と旧地権者などへの説明会を開きご理解を得て、工業用地へ変更した経緯がある。質問の内容は理解しているが難しい。

利用目的の変更も含め、色々な活用方法を早急に検討する。

町長 さまざまな意見があるのは承知している。南部工業団地誘致のトップセールスの際にも併せて勧めている。

その他の質問
▽観光推進関連として有田版DMOの進捗状況は
▽コロナ禍の中、新たな観光戦略構想は
▽早急にまちづくりのランドデザインを



原田 一宏 議員

登下校路の危険箇所の対応は

答 現地確認をして、対応を協議している

登下校路の安全性

議員 町内4小学校区の登下校路では、道幅や歩道が狭いところなど交通事故の危険性がある箇所、また瓦の崩落などによる通行の障害となる箇所が見られるが、その現状把握と対応は怎么样了っているか。

学校教育課長 危険箇所は、関係者の合同点検で、現地確認を行い、対応を協議している。

国道や県道・町道は所轄する部署で計画的に進めている。

議員 問題や課題に対して、迅速な対応をお願いしたいが。

教育長 所管の問題もあるが、関係機関と調整して、子どもたちの安全を第一に考えて要望を出していきたい。

議員 横断歩道を渡るうとするとき、車が止まらない場面が見られるが、横断歩道を渡る時の指導はどのようにしているか。



▲瓦の崩落で登下校に支障のある空き家

学校教育課長 各小中学校で安全教室を開催し小学校では信号機のない横断歩道では手を挙げて運転者に分かるように、また中学校では自転車の乗り方等のルールについて指導している。

内山のまちづくり

議員 「内山地区のグランドデザイン」を考えたが、内山地区のまちづくりに対する町の考え・町長の考えは、まちづくり課長 行政だけでなく、住民や事業者・関係機関が連携して、指針を共有することが重要と考える。

町長 4500〜5000年続く街並みを作っていくことが基本にある。

議員 検討委員会の協議内容について、情報の共有をすべきでは。まちづくり課長 検討委員会の告知は事前に行っている。会議の資料や概要・協議内容はホームページで町民に周知していきたい。

議員 パブリックコメントを求める時期は。まちづくり課長 会議の途中で求めるのは困



▲トラベルクーポン取り扱い表示の店舗

難と思う。検討委員会からの最終報告があつて、グランドデザイン策定までの間（令和3年度12月か1月）に求める予定。

秋の陶磁器まつり

議員 今回の「秋の陶磁器まつり」は来場とオンラインの二本立てで企画されたが、オンラインの状況とその成果は。

商工観光課長 今回は観光協会のホームページに各店舗のオンラインショップと連携した有田産品という窓口を作った。通常は23000件のアクセスだが、

期間中は45000件のアクセスがあつた。やきものに加えて、食べ物もアップしている。

議員 問題点はあるか。

商工観光課長 コロナ対応で、場所により人手不足になった。事業者からは、リアルとオンラインの同時開催の心配があつたようだ。

議員 GOTOトラベルのクーポン利用も売上に効果があつたようだ。利用時の問題点はなかつたか。

商工観光課長 トラベルクーポンとGOTOトラベルの食事券の開始時期が各県によって異なつたが、現在のところクーポン利用のトラブルは聞いていない。

唐船城築城800年事業回顧展を

答 町の歴史事業として検討する



池田 栄次 議員

唐船城築城800年回顧展

▽築城800年事業の回顧
 議員 唐船城や松浦党の歴史を風化させず、810年・850年事業につなぐ特別講演やパネル等で回顧展の開催を。まちづくり課長 800年記念事業は郷土の歴史を紐解き、郷土愛と誇りをもたらし事業となった。内容や方法は調整が必要だが事業の成果を伝え、歴史を継承する意味でも検討したい。



町長 事業の回顧ではなく、有田焼創業400年事業の基となる町の歴史事業として検討する。

▽写真等の公募を

議員 回顧展を意義あるものにするため、800年事業の資料や写真等を公募してはどうか。教育長 保存資料や写真等の整理・展示等は教育委員会の職務だが、時期的な問題が絡むが、関係課とも協議・連携して公募等も考える。

水の浄化対策

▽単独処理浄化槽の現況
 議員 町内に約500基(内、約85%は旧有田町)ある単独処理浄化槽は、し尿の浄化を目的に設置されている。

浄化槽の破損や老朽化等で大腸菌を含む不完全な処理水が河川に流れ込み、公共下水道や合併処理浄化槽への接続・転換が遅れる原因ともなっている。上下水道課長 環境省も単独浄化槽から環境負荷の高い排水の流れ

込みを指摘している。町長 下水道工事も完了が近い。今後は汲み取り槽を含め、公共下水道や合併処理浄化槽への転換を重点に取り組む。

単独処理浄化槽基数(推定)

地域	商店	一般住宅	合計
1・2区	50	86	136
3区	57	41	98
4区	7	19	26
5・6区	50	58	108
7・8区	25	31	56
9・10・11・12区	24	22	46
13・14・15・16区	18	11	29
合計	231	268	499

換、農業集落排水事業への接続促進にも活かす検討を進める。

災害避難の長期化対策

▽山谷地区の避難対策

議員 山谷地区から町の指定避難所は遠い。9月議会でも多目的・避難施設の設定を求めたが、

総務課長 避難対策は集落等での共助が重要だ。日頃から知人や親類等とも連携して欲しい。施設の整備は資金面でハードルが高い。町長 山谷地区の防災対策は喫緊の課題だと認識している。有田町全体を含め、今後の対応を検討したい。

議員 単独浄化槽の転換には国も補助する。町の加算や負担金の減免等で転換を早めるべきと思うがどうか。町長の本気度を問う。町長 国の補助内容を精査し、公共下水道や合併処理浄化槽への転

議員 避難が長びけば

婦人会のご支援が不可欠だ。町は婦人会をどう位置づけているのか。教育長 男女共同参画や青少年の健全育成、交通安全、健康・福祉、防災活動等で婦人会との連携は益々重要になる。婦人会の独自性も尊重しつつ連携を深めたい。

▽婦人会の支援と育成

議員 集落の婦人会組織が減り避難等での支援体制が懸念される。町は婦人会の存立理念の教育、会費負担や物品販売のない組織づくりに支援・育成を。町長 消防や防災面でもご協力戴いている。補助強化等は検討する。

教育長 組織率の低下はコミュニティの在り方や個人の価値観もあるようだ。他の団体との公平性も必要だが、組織強化や補助面でも前向きに意見交換をしたい。

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



福島 日人士 議員

児童虐待対応への取り組みは

答 要保護児童対策地域協議会で対応している

児童虐待対応への取り組み

議員 平成30年度の全国の児童相談所や市町村への虐待件数の報告は、約25万件超であるが、町内の児童虐待通告件数は。

子育て支援課長 昨今の県内状況は、平成26年度は年間200件未満だったが、平成30年度は351件、令和元年度は717件と倍増している。町内では18件である。種別は面前DVを含めた心理的虐待が半数を占め、身体的虐待25%、ネグレクトが20%である。

議員 要保護児童対策地域協議会の活動、支援の状況は。

子育て支援課長 年に1回構成機関の代表者会議の開催、年3回、児童相談所をはじめ、町内主任児童委員、保育施設や小中学校の代

表等との実務者会議において事案の報告、検討や情報の交換を行っている。また、必要に応じて個別会議も行い、令和元年度は延べ19回開催している。

議員 里親家庭での養育状況は。

子育て支援課長 今年度4月現在、県内に147世帯の里親登録があり、県では、里親世帯に対する研修や相談児童と里親のマッチングやその後のフォローなどを行っている。町内にも里親登録をされている世帯があり、受け入れも行っていただいている。

議員 ひとり親家庭が増加しているが、対応や支援状況は。

子育て支援課長 健康福祉課では子育て世代包括支援センターを設置し、母親の育児不安への対応として、母子の健康管理はもとより、

虐待防止の観点から保健師による2カ月児の全戸訪問を実施。妊娠前から子育て期の母子の支援を行っている。また今年5月に開設した多世代交流センター「ゆいたん」では、子育て世代の交流や相談を実施。また、町内の認定こども園4園でも子育てサロンを定期的で開催されている。今後これらの事業を通じて、関係機関が連携して支援を行っていく。

佐世保市横手町と有田町との県境の道路接続

議員 以前にも質問したが、上本楠木原線は有田町から市側への通勤道路や町民の利用道路でもあり、工業団地もあるので、見通しよく拡幅工事をしてから高速道路への乗り入れが



▲佐世保市横手町と有田町との県境付近

便利になる。また、市側からの通勤車両も増えている現状もある。今後の対応は、建設課長有田町から申し入れた経緯だが、佐世保市側の地権者3人と、事業



▲岩盤の崩落場所（楠木原）

同意について、再協議する予定と佐世保市側から聞いている。また

市の予算化もできていない状況である。

楠木原から上本への通学道路の安全対策は

議員 岩盤の崩落の安全対策を以前にもお願いしていたが、建設課長 地権者の方の相続が行われていないので、話し合いができていない。

東と西に点在する観光資源を結ぶ施策を

答 内山地区のグランドデザインに反映させたい



諸隈 洋介 議員

グランドデザインと観光

議員 内山地区のグランドデザインを考える検討委員会の人選は。まちづくり課長 委員の選出は建築家、エリアマネジメントの専門家、陶芸家、商工会議所、地元商店会、佐賀大学、NPO法人から計13人、その中で女性4人も含めて、こちらからお願いして参加いただいた。

議員 世代間のバランスの取れた人員構成か。また人選について透明性が担保されたのか。まちづくり課長 若い年齢構成にはなっていない。公募はせず、こちらで人選し、お願いした。今後、検討委員会の中に、検討部会を設け、若い30代を中心とした世代の意見も反映させたい。

町長 検討委員会と検

討部会を設ける。町民の意見を反映できるように部会の人選を行う。

議員 透明性と情報公開は当然。せっかかない答申が出てても正当性が問われない配慮は必要。有田の東地区の磁石場や大イチョウ、西

地区の岳の棚田、切口の山谷大堤など美しい東西の観光地の点と点を結ぶような施策もグランドデザインに盛り込むべき。「デイスカバー有田」有田の良さを再発見する。そこからコロナ禍の観光の在り方を考える時期とと思うが。

議員 第2次有田町の総合計画の見直しは。まちづくり課長 総合計画の中で基本構想10年、基本計画前期5年の3年目になる。当然

町長 有田の観光スポットを繋ぐような施策は必要。コロナ禍の今だからこそ有田を見つめなおしてインバウンドを含め、今後の在り方や進め方など答申を精査して取組む。

議員 伝統的建造物の保全も含まれるのか。まちづくり課長 伝統的建造物の活用と保全もグランドデザインに含まれると思う。

議員 来年の連休は人の集め方や陶器市の在り方も変わる。通年観光に向けて電柱、電線の埋設工事の進捗状況は。

建設課長 令和元年度繰越工事は札ノ辻の交差点から北側の100メートルは完了している。令和2年の工事は同じ区間の南側を庇札したが、入札が不調のため再度入札する予定。工事期間は半年の予定。1期工事は完了



▲泉山の大イチョウと英山



▲秋の陶磁器まつりの内山

各課を網羅した総合政策課の設置を

議員 縦割り行政の是正と、コロナウイルスなど未曾有な事案と社会変化に伴うニーズに対する迅速かつ柔軟な対応をするために、各課を網羅する総合政策課が必要では。

町長 社会状況が変わる中で行政の組織の在り方を考えたい。

その他の質問
▽コロナウイルスの現状認識と有田町の対策



梶原 貞則 議員

コロナ禍で危機的状態の窯業界への支援を

答 何らかの支援を考えていきたい

有田焼業界の活性化

議員 コロナ禍の影響で営業用食器を製造する窯元やそれを販売する商社は危機的状況である。福井県鯖江市の越前漆器協同組合には、市からの9千万円の補助により、「越前漆器購入緊急支援補助制度」がある。国内の飲食業

や宿泊業の方が越前漆器を買った場合、その売上金の3分の1を補助している。有田焼業界にもこのような補助、支援ができないか。

商工観光課長 鯖江市は人口が約6万9千人で予算規模も違う。実施するには大きな予算も伴うので同じような支援は難しいと思うが、まずは庁内で協議した

越前漆器購入緊急支援補助金の申請について



全国のホテル・旅館・飲食店等で利用される、越前漆器の購入を補助します。

- <対象者> 国内で宿泊業・飲食サービス業・卸売業を営む者。
- <対象品> 越前漆器（越前漆器協同組合加盟店の製品に限る）
※製品によっては、越前漆器と認められない場合もあります。
- <補助率> 購入費用の1/3以内（補助金額：50,000円～500,000円）
修理費用の1/3以内（補助金額：50,000円～200,000円）
- <補助対象期間> 令和2年8月20日（木）～令和3年3月19日（金）
※申込みは、先着順で予算に達した時点で終了させていただきます。

▲出所 越前漆器協同組合HP

地域活性化

議員 PPPとは、公民が連携して、公共サービスの提供を行う。L A B V方式とは、官民が連携して公共施設、民間の商業施設や住宅などを作り、運営していくシステムである。今後、人口減に伴い予

議員 昨年の消費税増税により、売り上げが減少していた中で、このコロナ禍により商社、窯元、生地屋、赤絵屋など多くの関係する業種、有田焼業界全てが危機的状態である。この危機を乗り越えるためにも支援をお願いしたいが。

町長 各種団体や組合等とも協議しながら、何らかの支援をできるような体制づくりを考えていきたい。

算も減少していく中で、こういう開発を考えてはどうか。

まちづくり課長 財政の負担を減らしながら開発ができることは、自治体にとつてメリツトがあると考えられるので、研究をしていきたい。

出生数と婚姻件数

年次	出生数	婚姻件数
昭和 50 年	190.1 万人	94.1 万件
昭和 60 年	143.1 万人	73.6 万件
平成 7 年	120.7 万人	79.2 万件
平成 17 年	106.3 万人	71.4 万件
平成 27 年	100.6 万人	63.5 万件
平成 30 年	91.8 万人	58.3 万件

資料 厚生労働省「人口動態統計」

少子化対策

議員 今年度、全国の出生数は約84万人、婚姻件数は平成30年で59万件と減少傾向である。有田町の出生数及び婚姻件数は。

まちづくり課長 出生数は、平成22年171人、平成27年152人、令和元年120人。婚姻件数は、平成22年140件、平成27年121件、令和元年87件である。

議員 少子化と婚姻件数の減少は比例している。富山県南砺市では婚活支援の組織「なんとおせっ会」という組織を立ち上げ、10年間で138組という効果を上げている。少子化を食い止めるためにも、婚活を支援する婚活パーティーなどのイベントに補助金を出すなどの制度も必要ではないか。

町長 人口増は町の活力に繋がるので、民間の婚活支援等の提案があれば取り組んでもいいかと思う。また連携しているマッチングアプリの会社とも協議していきたい。

町内に児童発達支援センターの開設を

答 関係機関と意見交換を行いたい



今泉 藤一郎 議員

木造住宅への耐震化補助

議員 県は、昭和56年5月31日以前に着工された戸建ての木造住宅を対象に、耐震診断費用の83%補助券を発行しているが、町が実施する補強設計や耐震改修補助はどのようなになっているか。

建設課長 耐震診断の自己負担は、現況凶面がある場合が1万円、ない場合は1万5千円。補強設計には3分の2で最大8万8千円。補

強改修最大23%で34万4千円の補助金がある。

▽老朽危険ブロック塀の撤去補助

議員 新年度に向けた県費予算要望調査では、老朽危険ブロック塀などの除却費補助事業に県内で半数の10市町が予算要求をしているが、有田町でも予算要求と事業実施ができないか。

建設課長 除却費補助事業に取り組む市町はブロック塀の長さで1m当たり1万円を上限に、所有者負担は33%

4%で実施をされている。

町長 老朽箇所は把握をしていないが、所有者負担を伴うので、先ずは除却の要望調査を実施したい。

副町長 新年度に向けた県への予算要求は、すでに終わっていて厳しいところはあるが、県と協議したい。

町内に児童発達支援センターの開設を

議員 障がいや難病によって他者の支援を必要とする児童は、町外にある14通所施設を利用されているが、人数と課題は。

子育て支援課長 利用児童は年々増加し、今年度は80人になった。この中で、知的問題の無い発達障害のみの児童を除き、身障・療育手帳を所持する児童は、乳幼児9人・小学生16



▲伊万里福祉会 ひまわり園

人・中学生10人・高校生14人。

町長 人材確保を含め児童発達支援の施策の取り組みを強化していきたい。

議員 障がいなどを持つ子どもの保護者の大方は、母親が年中、子どもに寄り添う日々を過ごし、子育てをされている。ぜひ、町内に施設開設を望むが費用負担などはどうなるか。

子育て支援課長 民間が建設・開所する場合

の補助金は国が50%、県が25%で、事業主が25%の負担となっている。運営費はセンターで実施する児童発達支援や放課後等デイサービスなどの事業で賄う仕組みもある。

町長 町立保育園内に専門員を配置して、相談や支援を行うセンター機能を整備することを検討している。センター開設は町内の関係機関とも意見交換を行いたい。

議員 民間事業者が開設すれば、国・県からの補助金があり、町の持ち出しもなく、2、3カ所でも設置されれば、なお一層良いことと考える。

▲耐震診断の補助チラシ

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



蒲原 多三男 議員

新型コロナウイルスのワクチン接種実施体制は

答 国の指導を受けて 安心・安全の体制づくりに取り組む

新型コロナウイルスのワクチン接種の体制は

議員 新型コロナウイルスの感染拡大によって、町民にも大きな影響がでている。個人また、事業者など広い分野で経済的なこ

とばかりでなく精神的・心の面にも暗い影と現実生活の中にマインナスを及ぼしている。

政府は、来年の前半までに国民全員分のワクチン確保を目指している。ワクチン開発が成功すれば、米国のファイザーと6千万人分を供給することで合意。欧州とも協議、町は来年のワクチン接種へ向けその実施体制は、健康福祉課長 国から実施準備の大枠が示され、具体的な手引書を

感染リスクが高まる「5つの場面」

- 1 飲酒を伴う懇親会など
- 2 大人数や長時間に及ぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり (オフィス→休憩室など)

待ち、医師会と相談していく。
議員 国・県・町は、目的は同じでも役割はそれぞれと思うが、健康福祉課長 接種も個別や集団接種とし、町民への案内を行う予

定。相談などは町の保健師で対応する。

議員 温暖化の気候変動に伴う災害の多発が

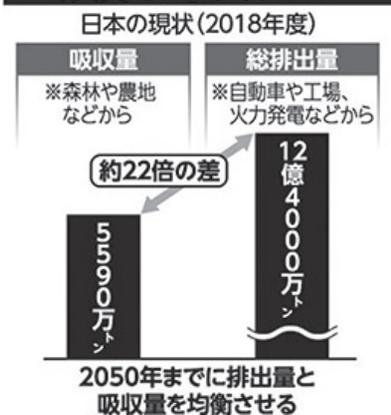
気候変動による災害対策は

議員 社会の脱炭素化と経済成長を両立する「グリーン社会」の実現を目指す時が来ている。首相も温室効果ガスの排出量「実質ゼロ」を2050年と目標を立てた。欧州や中国も目標を掲げ、国内の自治体も「脱炭素」を言っている。有田はど

二酸化炭素排出実質ゼロの取り組みは

来年度からの追加「5カ年の強靱化」の計画は現時点ではない。有田ダム・竜門ダムは補修、管理をしている。

「実質ゼロ」のイメージ



うか。又「脱ガソリン車」の動きについては、町長「脱炭素」については、現在検討中。環境省の循環型社会地域に参画している。炭素ゼロを目指す。公用車のEV化は更新時に対応していきたい。
住民環境課長 二酸化炭素削減及びごみ減量のため、古紙リサイクルポイント事業で、リサイクルプラザに持ち込んだ重さに応じてポイントを付与し、ポイントがたまったら、町内の対象店舗でそのまま商品券として使ってください。

新婚生活支援は

議員 若者が結婚に至る障害としての第一が、経済的な負担であると人口問題研究所の調査ではなっている。結婚資金と住居で6割を占める。国は平成28年から婚姻による住宅取得、住宅家賃、引っ越し費用の補助をしており、来年度から年齢制限や補助率のアップ予算の上積みを検討している。町の来年度の取り組みや、婚姻の状況は、また、町としての補助制度はあるか。
まちづくり課長 婚姻は11月末で69件。新婚世帯への補助を国は30万円から60万円へ増額する予定であるが、町の負担も増える。今は町の補助制度はない。県内市町の動向をみていく。

令和2年度県政功労者知事表彰

11月6日 藤 誠一郎議員が町議会議員として20年以上地方自治の発展に貢献されたため、令和2年度県政功労者知事表彰を受賞しました。藤議員は、平成11年4月に旧有田町議会議員に当選して以来、現在に至るまで6期にわたって在職しています。



議会選出監査委員の選任



12月12日付けで、松永俊和議員が議会選出監査委員に選任されました。毎月実施する例月出納検査や定期監査、決算審査などに従事されます。

有田町議会議員に手塚英樹氏が就任



有田町議会議員に、手塚英樹氏(大樽)が12月25日付けで就任しました。これは有田町議会議員の欠員に伴い、公職選挙法の規定により選挙会で決定されたものです。任期は他の15名の議員同様、令和4年4月15日までです。

議会における新型コロナウイルス感染症対策

1. 議会においては、日頃より手洗い、消毒、マスク着用を義務付け、三密にならないよう心掛けている。
2. 年に一度実施している所管事務調査(各常任委員会視察)は全国的な感染拡大のため、今年度は中止とした。
3. 議場では、議長席、登壇用机に加え、議席間にアクリル板を設置した。
4. 密を避けるため、傍聴人にはご遠慮いただいている。
5. 常時、細心の注意を払い万全の体勢で臨んでいる。



町民の皆様も各自ができる範囲で新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。



立部正則議員 急逝



立部正則議員が、令和2年12月20日、享年67歳で永眠されました。平成22年の議員初当選以来、2期連続で当選され、議員生活6年9カ月の間、有田町発展に尽力されました。

追悼の詞

12月20日、立部議員の訃報に接しました。病気を治され、また一緒に仕事ができるものと信じておりましたので、とめどなく悲しみがこみ上げてきます。2年前にリンパ腫を発症されましたが、その時は持ち前の気力で病気を治されました。回復後は、精力的に議員活動を再開され、議会選出の監査委員、産業建設常任委員会委員、議会広報発行特別委員会委員をつとめられ、町の発展・議会の活動に対しまして人一倍のご活躍を頂きました。これまでのご労苦に対しまして、心から感謝申し上げます。

立部議員は竹を割ったような、真っ直ぐな性格で、是は是、非は非と何事も真剣に取り組む

議員であったと認識しております。農業分野の一般質問では一歩も引かずいくつもの成果をあげられました。また、教育関係の質問では曖昧な答弁に対して厳しく追及された姿は忘れることができません。私も町議会議員の模範とするところであります。

しかし、今年の九月に病気を再発され、治療に専念されておられ、途中何回もラインでのやり取りをさせて頂きました。12月7日に電話を頂いた時には、議会のことを気にされておられました。「議会のことは気にせず、大変でしょうが治療に専念してください」の言葉が最後の会話となりました。

これからも、一緒に立派な町づくりを目指したかったです。残念でなりません。その気持ちは私よりも立部議員のほうが強く、無念であつただろうと察する次第です。

最後になりますが、立部議員のご意思を引き継いで、私も議員は有田町発展のために仕事をさせて頂くことをお約束いたし、ここに心より立部議員の安らかなるご冥福をお祈り申し上げます。

立部議員、お疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

合掌

有田町議会

議長 松尾文則

■議長交際費支出状況(令和2年10月~12月)

項目	件数	支出額	備考
会費	1	6,000円	行政懇談会負担金
雑費	1	3,806円	佐賀県理科研究発表会議長賞記念品
合計	2	9,806円	

「議員と語ろう会」の中止

年に一度実施しておりました「議員と語ろう会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中止とすることを決定しました。今後、情勢をみながら開催の時期を検討していきたいと考えております。



師走を迎え、何かと気ぜわしい毎日である。年が明け1月は、睦月というが、お正月に家族や親戚が集まり睦会うことから睦月というようになった。

今年は、新型コロナウイルスの流行により、経済は正念場を迎えている。

4月、5月のように緊急事態宣言となれば、経済活動に及ぼす影響により、深刻な被害が拡大すると考えられる。基本的感染防止対策に努め、命を守ることを第一に、不要不急の外出を自粛し、一日も早く終息することを願いたい。

(淳彦)

議会広報発行特別委員

- 委員長 福島日人
- 副委員長 古賀 四郎
- 委員 諸隈 洋介
- 委員 岳川 淳彦
- 委員 樋渡 徹